

令和3(2021)年度 事業報告書

特定非営利活動法人 横浜発明振興会

令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 事業の総括

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの事業運営となりましたが、主幹事業である毎月の「ハマ発明教室」開催と「ハマ発明ニュース」発行は、オンライン開催等により一度の休会・休刊を行うことなく実施することができました。

また、「創立60周年記念事業」について、開催が懸念されていた「記念式典・祝賀会」は、一時的に感染拡大が鎮静化した12月に無事開催することができ、「記念会報：60年のあゆみ」は新しい形で発行することができました。

なお、2021年度事業は、2019年度に斎木隆士様、吉野剛蔵様、寺嶋之朗様が横浜市の「市民活動推進助成金（よこはま夢ファンド）」に寄付（ふるさと納税）をいただき、それらに基づく横浜市からの「登録団体助成金」支給により、当初の年間事業計画どおり実施できました。支援いただきました皆様に改めて御礼申し上げます。

2. 具体的事業項目

No.	大項目	中項目	設定した課題	結果
1	ハマ発明教室開催(日曜発明教室)	集合型開催	基本的に集合型開催を目指す。経費・参加者数、また、研修テーマに応じてコロナ禍収束後も「オンライン開催」を検討する。	・新型コロナウイルス感染症の影響による「休会（発明教室参加機会の喪失）」を回避することを第一に、4～9月オンライン開催、10～12月集合型再開（オンライン参加も可能なハイブリッド開催）、1～3月オンライン開催しました。 ・発明教室教材（アイデアブック）を事前にメール送付することを原則とすることに変更し、出席できない会員にも発表作品情報の提供を行いました。これによりコスト削減とカラー写真による情報改善というメリットが派生的にありました。 ・ただし、残念ながらオンライン開催やメール送信は、パソコン環境や住宅環境が整わない会員には、教材送付やホームページの会員専用ページによる情報提供にとどまりました。 ・なお、第2部にて、出願に必要な知識（PC申請、Jplatpat）やノウハウ（明細書作成、拒絶通知対応）に関する研究会を実施し、会員のレベルアップを図りました。入門・初級レベルではありましたが、オンライン開催のメリット（全員がパソコン操作しながら参加）があったと考えます。
		オンライン開催		
		第2部テーマのバリエーションを増やし、事前予告		

No.	大項目	中項目	設定した課題	結果
	No. 2			
2	会員への情報提供強化		①会員専用ページの充実。 ②発明教室欠席者への教室情報の提供。 ③新規会員への情報提供をメールに限定化。 ④既会員のメール移行（郵送中止）促進。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、「ハマ発明ニュース」を毎月発行しました。 ・アイデアブック同様に、ハマ発明ニュースをメール送信化し、カラー写真での情報を受け取ることが出来るようになりました。 ・「会員専用ページ」の運用を正式に開始し、「発明教室のアイデアブック」「研究会教材」「発明ニュース」のバックナンバー閲覧をいつでも可能にすると共に、実務に必要な教材提供を開始し、教材数は8件となりました。 ・大貫弁理士より使用許諾をいただいた「明細用語集」を、会員専用ページに書籍PDFとして閲覧できる状態にしましたが、用語検索機能を持たせるには至りませんでした。
	ホームページ「会員専用ページ」提供			
	ハマ発明ニュース等、情報送付のメール化			
	明細書用語検索			
	発明教室情報の提供			
	20年以上前発表発明のバックナンバー閲覧			
有益な図書等情報の会員相互情報共有				
3	60周年記念事業		① 記念式典 記念式典(集合型)12月実施予定。コロナ感染症の推移を見て開催内容を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・10年毎に発行してきた「記念会報」を途切れさせることなく発行することができました。今回の記念会報「60年のあゆみ」は、革新的な印刷業者（オンライン発注）の登場により、直近10年間を中心に発表作品や活動を紹介するカラー写真誌風の新しい形で編纂が可能となり、当会の活動、特に10年間について、よりの確に記録する会報として完成させることができました。 ・また、恒例の「創立60周年記念式典・祝賀会」は、コロナ禍のため創立月(1月)からは遅れましたが、12月に横浜市役所所管課や関係団体を招き、感染防止対策を徹底しながら開催しました。
	②「60年のあゆみ」			
4	ホームページ（対外）の充実		広い層の支持が得られるように内容の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを見やすいレイアウト、明るいブルー基調のものに改定しました。しかし、外部閲覧者の顕著な増加は確認できていません。 ・会員の発明品紹介ページは、掲載希望者が伸びず掲載数が増えておらず、対外的PRページとしてより多くの作品掲載が必要という課題を有しています。
	①広報機能			
	②会員発明品紹介			

No.	大項目	中項目	設定した課題	結果
5	先行技術文献の調査・出願支援		先願人の権利範囲、調査	<p>・具体的な調査・出願支援依頼はありませんでしたが、ハマ発明教室第2部にて、出願知識・ノウハウに関する研究会を実施し、会員のレベルアップを図りました。</p> <p>・出願～取得までを自力で出来る能力を得られるようにすることを目標に、教育・アドバイス・支援を行いました。</p>
		明細書作成アドバイス事業	権利化実現、高度アドバイス	
		オンライン出願支援	オンライン出願ソフト使用法支援	
6	試作サポート事業		アイデアを形にする方法や手段、またその手配に関する助言や仲介	コロナ禍の中、試作依頼は少なく、試作は会員からの1件に留まりました。但し、懸念された木工品・金属加工の試作について、工房を有する元会員から必要に応じて協力する旨の確認が取れました。
7	発明・考案の展示発表 (対外的)		中区開催イベントを中心に参加していく。	作品に関する一般からの反応や評価を知る上で必要なイベントですが、コロナ禍の長期化により2021年度は参加できませんでした。
	展示会			
	販売会 体験会			
8	出前講座の実施		依頼を受けて出前講座を実施	日常生活の中でのアイデア・発明の「楽しさ」「必要性」を教宣することが目標ですが、コロナ禍の長期化により2021年度は依頼が一切ありませんでした。(新型コロナウイルス感染症の影響は令和2年度もありましたが1件はありました。)
	受託講座			